【授業構想】 「体育理論」学習指導案（中学校）

- 1 対象 ○○中学校 3年○組 男女 名
 2 単元 体育理論 「イ 国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割」
 3 本時の目標

- ① オリンピック・パラリンピック大会などは、世界中の人々にスポーツの持つ教育的な意義や価値を伝え、人々の相互理解を深めたりしていることで国際親善や世界平和に大きな役割をはたしていることを理解することができるようにする。
 ② メディアの発達によってスポーツの魅力が世界中に広がることで、国際親善や世界平和に果たす役割が一層大きくなっていることを理解することができるようにする。

4 本時の展開

	学習内容・学習活動	教師の支援・指導上の留意点
つ か む	1. 本時の学習のねらいを理解する。 2. さまざまなスポーツの国際大会のうち、どの大会をどのような方法で見たり、情報を入手したりするか思い起こしてみる。 3. 前時の授業の内容である「現代生活におけるスポーツの文化的意義」について確認する。	・プロジェクター等を利用しながら、例示に挙げた大会のシーンを視聴させてから思い起こさせる。 ・ワークシートにある問題形式の問いに教科書を見ずに解答するよう指示して取り組ませる。
ひ ろ げ る	4. 中学校の球技大会や体育祭などで、感じた気持ちを4つ挙げてみる。 そしてそれらを4人のグループでまとめてみる。 ＜予想される生徒の気持ち＞ ・クラスや応援団の仲間っていいな ・上手なプレイに感動した、自分も上手になりたい ・クラスがまとまった気がした など 5. クーベルタンが近代オリンピックを開催した考えや思いについての文を読む。 6. オリンピック・パラリンピック大会のさまざまな写真を見て、感じ取れることを3つ挙げる。 ＜予想される生徒の気持ち＞ ・すばらしい技術に感動 ・「する人や応援する人」の心が一つになる ・賞賛し合える姿に喜びを感じる ・全力でプレイしている ・フェアにプレイしてこそお互いに尊敬できる	・いろいろな関わりがあると予想されるので、「する」という視点から考えるよう伝える。 ・4人のグループでまとめる時に、スポーツの技能への憧れや達成感、人間関係、道徳的・倫理的な価値などに分類してまとめさせる。
ま と め る	7. 先生のまとめの話を聞き、オリンピック・パラリンピックなどの国際的な大会が果たしていることについて自分なりにまとめる。	・生徒に本時の授業のまとめを記入させた後に、教師が本時のまとめを板書する。この際、導入での発問のメディアの発達の影響に触れる。